

里山に託す私たちの未来

「君津の里山のにぎわい」

きみつ里山活動ネットワーク
代 表 鈴木 宗男



天高く馬肥ゆる秋、皆様にはお変わりなくお元気な姿を拝見し、同慶の至りであります。本日「君津の里山のにぎわい」に、多くの方々のご参集をいただき、主催者を代表致しまして深く感謝申し上げる次第であります。

私どもは、一昨年第11回「里山シンポジウムin君津」を開催し、昨年は「君津の里山のにぎわい」と題して、市内の里山関係諸団体の活動発表と交流を推進してまいりました。

「きみつ里山活動ネットワーク」はこれらの蓄積の中で、結成されました。今回、君津市都市緑化祭に参加する形で、「君津市文化のまちづくり1%支援事業」の支援を受け、ちば里山センターと共催し、「里山に託す私たちの未来・君津の里山のにぎわい」を、皆様のご協力と御理解のもと、このように多くの方々の参加のもと開催できますことは、誠に喜ばしく、重ねて感謝申し上げます。

「きみつ里山活動ネットワーク」は里山や地域に関心ある市民、そして活動団体が自主的に参加し、みんなで運営し、ともに支えあい、励ましあい、自分たちの為に成る活動を展開する団体となることを目指し、誰もが入って良かったと思う組織に育て上げる、そのような組織でありたいと思っております。

さて、我が国土の半数以上を占める、森林、里山の活用にも多くの期待が掛けられて居ると共にこの荒廃した・森林、休耕田・等・里山の再生、自然エネルギーの活用は、国・県はもとより、我が君津市においても今や待ったなしの事柄ではないかと考えています。

我々地域住民とし自然資源の活用に関心を持ち、自然と接し行動に移す事が大きな力となり行政機関と力を合わせ、地域、街づくりにも寄与できる事だと考えております。

国際にも経済情勢変動が激しい昨今ではありますが、自然と環境への関心は国際的にも大きく高まりつつあり、自然資源の活用、空気の浄化、安心して飲める水源の確保、等、等、多くの問題を残しつつも、一步一步、前に進んでおります

今回の「君津の里山のにぎわい」は、まさしく足元から、持続可能な社会、持続可能な生活スタイルを志向していこうとする個人、団体の交流と知恵の出しあいの場であります。基調講演「地域の誇りと日々の生業を売る」と題し、長く地産地消を基軸に地域の活性化にご尽力され、全国的に活動されている清水さんをお願いし、地域の経済を生かす活動に役に立つ講演をお願いしております。ご期待ください。さらに市内6団体の方々に活動事例の発表を御願ひしております。ともに大いに学びあい、励ましあいたいと考えます。

君津市、ちば里山センター、君津造園建設業協同組合はじめ、多くのみなさのご協力に深く感謝申し上げます、ご挨拶と致します。